



社団法人

海外と文化を交流する会

(社) 海外と文化を交流する会会報

2003年9月発行(3ヵ月1回発行)

第20号

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援 貧しい国々での医療活動を支援 各国大使館との協力などによる文化講演会の主催

事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-27-6 パイナル内 TEL&FAX 03-3370-7654

<http://www.kaigai-bunka.org> e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org

## 巻頭詩

### うたを うたう とき

まど・みちお(詩人・児童文学者)

まど・みちお：明治42年山口県生まれ。台北工業卒。国際的な評価も高く、「アンデルセン賞」その他数多くの賞を受賞。著書に「ぞうさん」(ぞうさん ぞうさん お鼻が長いのね.....)や、「まど・みちお詩集」「宇宙のうた」ほか多数。動物に関する詩20編は美智子皇后が英訳するなどで、話題になりました。掲載の詩は、作者の快諾を得て転載しています。

うたを うたう とき  
わたしは からだを ぬぎすてます

からだを ぬぎすてて  
こころ ひとつに なります

こころ ひとつに なって  
かるがる とんでいくのです

うたが いきたい ところへ  
うたよりも はやく

そして  
あとから たどりつく うたを  
やさしく むかえてあげるので



## 寄稿

### 知・心一如とは

室井鐵衛（海外と文化を交流する会会長）

今、2003年という年は、唯、平成15年という年回りの上の年として考えるのではなく、戦後58年という年月の中で経てきた姿として、そして今現在生き続けている姿として見るとき、改めてその姿の変わり方を見せている年である。

日本の姿は変わってしまったのかと。それがいいのか悪いのか定かでないが……しかし現実には、世界は依然として人間同士の殺し合いが続けられ、強盗、殺人は絶えることがない。そして世間一般には平和といい、繁栄といいながら、一方に権力と犠牲についてその矛盾をさして語られることもない。世に知者といい、賢者といわれ、日に多くの論説が語られ、TV・新聞に論ずる多くの顔が見られても、世の中は依然そのままである。だが一方、改めて心を打たれ、感動してやまないことにも出会う。それは無名の人々の存在において知ることである。

かの8月9日は長崎原爆の日であった。その平和記念式典で、耳の聞こえない山崎栄子さんの“皆さん、私の話を聞いてください”の手話による“平和の誓い”は、これほど戦争の悲惨さを訴えた言葉はかつてあったであろうか。そして山崎さんは、そのとき、被爆者の一番つらかったことは、情報が入らなかったことだと言われた。事実を知らぬということである。感ずることは出来るが事実を知ることは出来ぬ。この事を述べて言われるのである。我々は知らぬことが多いのである。

このことで貴重な経験をした。去る6月9日、盲人用の輪投げ器を創案した斉藤泰一さんと、久我山の盲学校に訪問したとき、学校長の神尾先生が生徒達の学習の現場を案内して下さった。いくつかの教室で、先生方が手をとり足をとって教えている姿を拝見した。若い先生が、目の不自由なお子さんにタンバリンの打ち方を教えていた。全くタンバリンの何であるかを判らぬ盲目の少年が、タンバリンに触り、先生の握り方の手を触り、音を聞き、タンバリンを握るまでそれは大変な学習である。若い先生は、少年が飽きないように、あきらめないよう、大変な心くばりの教え方であった。見ていてたまらない感動を受けた。一言で教育だ、勉強だ、知識だ、道徳だと言っても、人の心があるかないかがその基底になければならぬものだと感じたのだ。まさに知・心一如。そこにこそ人として品格があるのではと。

去る日、黒柳徹子さんと梅原猛氏の対話の中で、日本憲法で平和をうたっているが、何か日本憲法で問題になるところはあるかとの問いに、梅原氏は、平和について触れているが道徳については述べていないと応えていた。このことが日本は変わったのだと思って同感した次第である。

(8月30日・記)

### 出会い

角谷多美子（海外と文化を交流する会理事）

海外と文化を交流する会がオーストラリアに25点の日本画を送ったのが1976年9月ですから、その少し前のことだと思います。

ある日、姑に「松岡さんのおばあちゃんがためになる映画の会をなさるそうだから、あなたお子さんたちを連れて行ってあげてちょうだい」と言われました。

虎ノ門のビルの地下にあった可愛いホールへ参りますと、この会の創設者であります松岡朝さんが子どもたちを大変喜んで迎えて下さいました。そして、まだ小学生でした娘たちにお菓子を下さりながら、こんなことをおっしゃったのです。

「あなたたちお肉好きでしょう。たくさん食べたいでしょう。でも、日本にはお肉が少ないから、たくさんあるオーストラリアから分けてもらおうと思ってね、それにはオーストラリアと仲良くしなければなりません。だからおばあちゃんはこういうことをしているのよ」

文化を交流すると言うことにはこういう意味もあるのだ!! 子どもたちがどう受け取ったかは分かりませんが、それは私にとっては心が開かれるような、目からうろこが落ちるようなことばでした。その日、短い講演があり、オーストラリアを紹介する映画を見せていただいたと思いますが、その内容よりも松岡さんのおっしゃったことのほうが印象深く、これが忘れることのできないこの会と私との出会いとなり、原点となりました。

あの時は、今のように深くこの会とかかわることになるうとは思ってもみませんでした。敬愛してやまない松岡朝さんのお始めになったこの会を、その精神を大切にしたいと思っています。

## 会からの報告&お知らせ&お願い

### 懸賞作文公募の締切りまぢか

（社）海外と文化を交流する会創立35周年を記念してのプロジェクトのひとつに、海外からの留学生より懸賞作文（日本語で4000字・20字×200行程度。テーマは「地球村で生き残るために 日本に期待すること」）を募集しています。当選者には金賞1名30万円、銀賞7名各10万円が贈られます。締切りは9月末日。詳細、応募の方法などは<http://www.kaigai-bunka.org> で検索のこと。なお、応募もe-mailになります。最終審査員として日野原重明氏（聖路加国際病院名誉院長）、松谷孝征氏（手塚プロダクション社長）、饒田隆史氏（元朝日新聞論説委員）を委嘱。大学3年生から大学院生までの留学生が、応募対象です。あとわずかの期日ですが、お近くの留学生に応募を勧めてください。

### 留学生奨励金の希望者をご推薦ください

「海外と文化を交流する会」の活動の一つとして、日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援があります。会員の皆様からの紹介と推薦を受けて、選考いたします。新たに支援したい留

学生を推薦なさる方は、事務局まで FAX で用紙などご請求くださいますようお願い申し上げます。応募締切りは 10 月末日。 FAX 03-3461-5061 担当 角谷

## 大好評「つどい」の次回は 11 月 13 日、「つどい」は来年 2～3 月

### (a) “つどい” 【21 世紀を語ろうよ】

これからの日本の進むべき道を探ることを目的として始められたこの「つどい」は、7 月 17 日（木）6:00～8:00・東京銀座・銀座教会集会室で、当会室井鐵衛会長を中心に第 2 回を行いました。第 3 回は、11 月 13 日（木）、時間・場所は同様。会費は軽食費込みで 1,000 円。参加希望者は FAX03-3311-7440 室井まで 11 月 6 日までに。なお満員の場合もあるので、返信電話あるいは FAX 番号を記入のこと。

### (b) “つどい” 【留学生との交流】

会員の希望にこたえ、当会が支援している留学生を中心に交流の機会を持ち、相互理解を深める「つどい」を行っています。次回は 2～3 月上旬を予定しています。場所・日時は決まり次第、お知らせします。

## 11 月 22 日に「神宮の森で聴く横笛のひびき」

今回の秋のチャリティコンサートは、笛の名人・鯉沼廣行さんに加えて、坂本真理さんです。会場の明治神宮の茶室「桃林荘」は、庭の紅葉が美しく、その庭を背景に「山梁の賦」「篠の音取り」などの曲を聴く、という趣向です。

11 月 22 日（土）・1 時開場・1 時 30 分開演で、入場料は 4,000 円。お問い合わせ・ご予約は TEL & FAX03-3370-6786 / 午後 6 時～9 時・田口まで。

## ホームページ開設

ホームページを開設しています。どうぞご覧ください。

<http://www.kaigai-bunka.org>

## 会費納入のお願い

2002 年度の年会費納入をお願い申し上げます。2001 年度の年会費未納の方は、ぜひともご納入ください。高く評価されている当会の活動は、皆さまのご支援あってこそなのです。

郵便振替 00130-2-366249 社団法人海外と文化を交流する会

銀行振込 東京三菱銀行渋谷支店（普）2266599 海外と文化を交流する会

会費 10,000 円（正会員） 5,000 円（特別賛助会員） 3,000 円（学生会員）

海外と文化を交流する会事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 ハイビル内

TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org